

さくら



令和6年9月17日(火)

STOP 温暖化



白露が過ぎ、まもなく秋分がやってくるというのに、残暑の落ち着く気配を感じられません。気象庁のホームページには「観測開始からの毎月の値」というページがあり、各地の過去の最高・最低気温、降水量、平均風速などをることができます。大阪の月平均気温は、1883年の観測開始から140年経った現在、観測開始当時よりも上昇していることが分かります。地球温暖化の影響は顕著です。

温暖化に伴って、地球レベルで異常気象が発生していることは周知のとおりです。異常気象の具体例は、猛暑やゲリラ豪雨、巨大台風や竜巻の出現、干ばつ、極端な冷夏や暖冬など。気象庁では、異常気象を「過去に経験した現象から大きく外れた現象」と定義。今まさに、過去では考えられなかったようなことが起こっています。

また異常気象は、生物界にも大きな影響を与えています。地球温暖化による気候変動で、特定の生物が絶滅することもあります。例えばホッキョクグマは、温暖化による海氷の減少などで、2100年には絶滅すると予測されています。気候変動は、植物の生育にも影響を及ぼします。農作物の十分な収穫ができなければ、価格の高騰や食糧不足が起こります。

カーボンニュートラルが叫ばれながらも、それは道半ばです。地球温暖化を食い止めるためには、皆さんの賢明な政治選択とライフスタイルの選択が必要であることを知っておいてください。

余談になりますが、今夏、我が家では、これまでになかったことが起きました。アリの大量発生です。眠い目をこすりながら、早朝にキッチンに行くと、ミカンの皮が真っ黒に。一瞬、一晩でカビが生えたかと思ったのですが、その正体は大量のアリがミカンの表面を覆っていたのです。さらに、調理台の上には、数千匹はあると思われるアリの大群。あまりのすごさに呆然としました。その後は、掃除機片手にアリ退治。毎年、何度か沢山のアリが家に入ってくることはあるのですが、このような状況は初めてです。この夏の暑さで、自宅そばの里山で何かが起こっていると推測しています。これも異常気象の影響？

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

